

〈つながる・はたらく・おさめる〉の教育学

——社会変動と教育目標——

人類史的な転換点を思わせる大きな社会変動のなかにあって大きく教育が問われている。そのなかで改めて何を教えるのか、教育目標が問われている。こうした課題を人びとの生活の課題と重ねて考えたい。すなわち、「つながる」、「はたらく」、「おさめる」という人びとの生活に根ざした営為に立ち戻りながら、社会生活を営む基本的な地点を設定し、そこに立脚しながら、教育目標を考える。なかでも、こんにち直面する大きな社会変動として、人工知能（AI）に代表される情報処理技術の飛躍的向上、少子高齢化、グローバル化などに注目した。

このような社会変動に応じた教育目標の捉え直しを、教育目標・評価学会の30周年記念事業として位置づけて検討を進めてきた。本中間研究集会は、その成果を報告すると同時に、課題を確認し、「つながる」、「はたらく」、「おさめる」を軸に3部で内容を構成した30周年記念出版の刊行につなげていこうとするものである。

日 時：2019年6月16日（日）14:00~17:00

会 場：一橋大学 国立キャンパス 佐野書院

その他：参加費無料、事前申し込み不要

報告1：生活世界における「つながる」ことと人間形成——その教育目標論的考察
長谷川 裕（琉球大学）

報告2：教育目標論からみた「はたらく」ことの再定義——職業的移行から社会的統合へ
斎藤 里美（東洋大学）

報告3：社会を「おさめる」主体になることの教育目標論的考察
鋒山 泰弘（追手門学院大学）

コメンター：松下 佳代（京都大学）・石井 英真（京都大学）

司会・コーディネーター：木村 元（一橋大学）

お問い合わせ先：kimura.h@r.hit-u.ac.jp（一橋大学大学院社会学研究科 木村 元）

【一橋大学国立キャンパスへのアクセス】



〒186-8601 東京都国立市中 2-1

- JR 中央線 国立駅 下車
南口より徒歩約 10 分
- JR 南武線 谷保駅 下車
北口より徒歩約 20 分
または
国立駅行 一橋大学下車 バス約 6 分



<会場>

26 佐野書院
(西キャンパス)